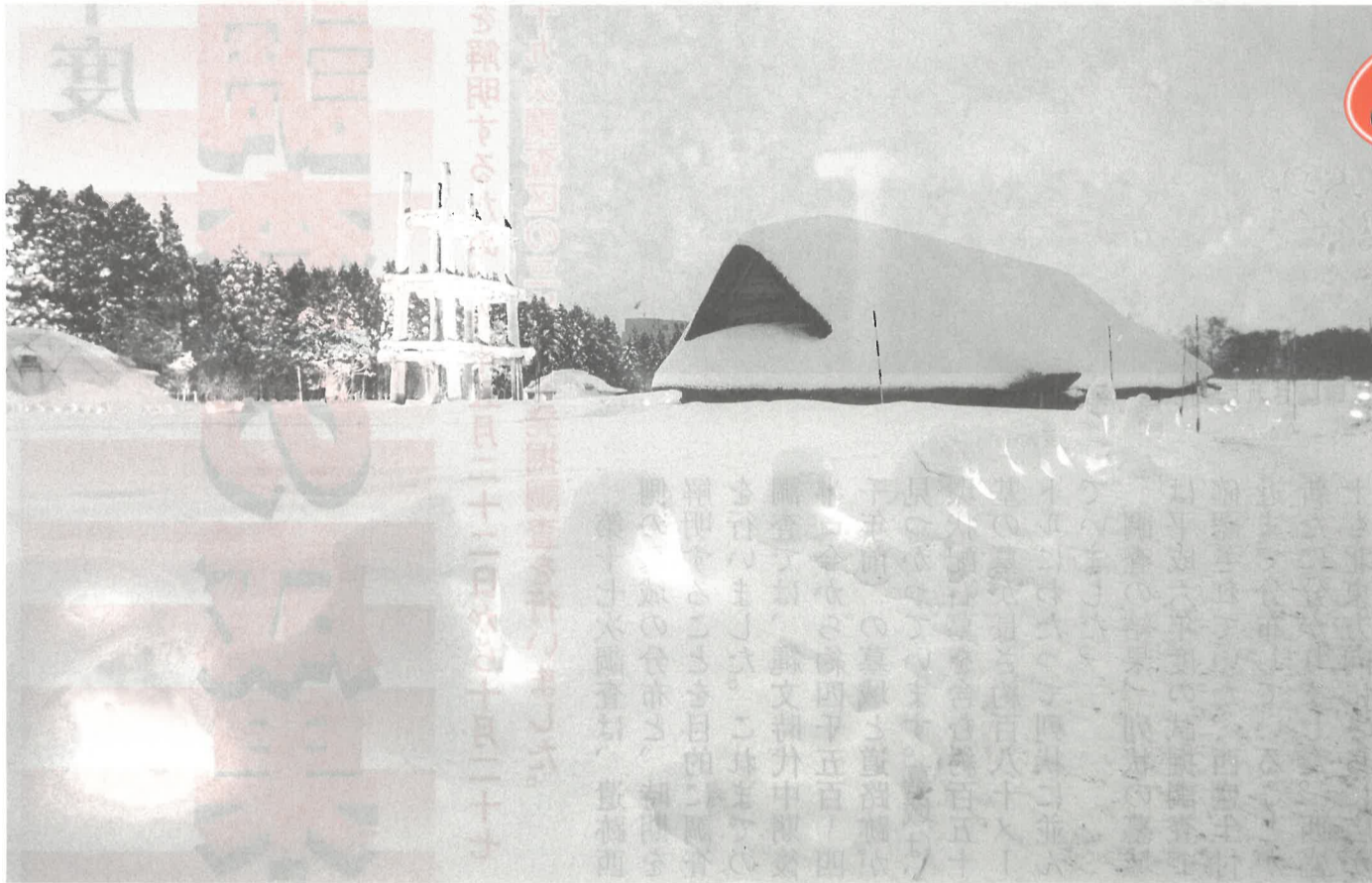




三内丸山通信



44年ぶり

三内丸山遺跡

特別史跡

指定

史跡から
特別史跡へ

昨年十一月二十四日、史跡三内丸山遺跡は特別史跡となりました。

縄文時代の遺跡としては実に四十四年ぶりで、長野県茅野市尖石遺跡、秋田県鹿角市大湯環状列石に続き、全国で三番目の指定となります。

これまでの
あゆみ

三内丸山遺跡は県営運動公園整備事業の新野球場建設に先立ち、平成四年度から本格的な発掘調査が始まりました。発掘調査が進むにつれて、縄文時代の定住生活が営まれた拠点的な大集落跡であることが分かりました。

巨木を使った大型掘立柱建物跡等の発見を契機として平成六年度に遺跡保存が

決定され、竪穴住居の復元や展示室の建設などの短期整備や公開が進められてきました。



出土した土器

平成七年度からは遺跡の全体像を解明するため、学術的な発掘調査が続けられてきました。これまで遺跡全体の約二十五パーセントほどが確認調査されています。平成九年三月には国史跡に指定されました。

調査研究から

これまでの調査で、集落の東側では、東西に約四百二十メートル以上延びている道路跡とその両側に列状に配置された大人の墓、西側には南北の道路跡に沿って配置された環状配石墓、北側低地から掘立柱建物と考えられる木柱などが新たに発見、確認されました。

また、遺伝子分析によるクリとウルシの栽培化や当時の自然環境が具体的に解明されています。さらに高精度の年代測定も行われています。

したがって、三内丸山遺跡は縄文時代前期中頃から中期終末（今から五千五百〜四千年前）まで継続した、東北北部から北海道南部にかけて分布する円筒土器文化圏の拠点的な大集落跡と考えられています。



整理作業のようす

この集落では、遠方と交流・交易が活発に行われ、祭祀や儀礼もまた頻繁に行われたものと考えられます。

遺跡の国宝といわれる特別史跡に指定されたことはあらためて三内丸山遺跡が日本の縄文文化を考える上で非常に重要であるとともに、国民共有の貴重な文化遺産であることが認められたこととなります。



新たに確認された列状墓（第18次調査）

平成十二年度

発掘調査の成果

今年度は遺跡の全体像を解明するため、昨年五月二十二日から十月二十七日まで、第十七、十八、十九次調査区の三地点で発掘調査を行いました。

第十七次調査は、遺跡西側の墓域の分布と、時期を解明することを目的に調査を行いました。これまでの調査では、縄文時代中期後半（今から約四千五百〜四千年前）の墓域と道路跡が見つかっていました。墓域は、環状配石墓を含む約百五十基の墓が長さ約百八十メートルにわたって列状に並んでいました。

調査の結果、列状の墓域は平成六年度の試掘調査で確認されていた、西盛土付近まで分布していることが新たに分かりました。西盛土も北東方向にさらに広がるのがわかり、墓域はこの下に延びている可能性があります。

今回、土坑墓のいくつかを詳しく調べたところ、すべて縄文時代中期半ば（今から約四千五百年前）のものでした。

近くからは竪穴住居跡も確認され、墓域とほぼ同時代であることがわかりまし

た。土器・石器は西盛土に多く、ダンボール箱で約二百箱も出土しました。

第十八次調査は、遺跡展示室南側の高台で行いました。平成六年度の試掘調査では、西盛土や子ども墓と考えられる埋設土器群などが確認されています。

調査の結果、縄文時代中



発掘作業のようす

期末葉（今から約四千年前）の竪穴住居跡と、中期の墓、貯蔵穴群が新たに確認されました。



第十九次調査区で出土した木柱

墓は、同じ方角を向き、長さ三十五メートルほどの列状に並んでいて、さらに北西方向に延びているようです。

第十九次調査は、遺跡北

端の沖館川に面した緩い斜面を調査しました。平成八年度に出土した柱を取り上げることが主な目的としました。

調査の結果、柱穴はやはり掘立柱建物跡になるように、時期は縄文時代中期後半（今から四千五百〜四千年前）のもので、今回はこの建物跡よりも少し新しい時期の竪穴住居跡も見つかりました。

また、取り上げたタクリの柱は直径五十センチ、長さ七十センチほどのもので、今後、年輪による年代測定などの分析を行う予定です。

当時の人々は、標高十メートルほどの一段低い場所にも、継続的に施設を作っていたようです。

冬の遺跡もおもしろい 「三内丸山遺跡・雪ランド2001」

二月十日から十二日にかけて、「三内丸山遺跡・雪ランド2001」を開催します。

冬になると遺跡は雪に覆われますが、そんな遺跡をもっと楽しめるようなメニューをたくさん用意しました。すべり台（そりすべり）や、ミニかまくら作り、縄

文クイズラリー、縄文ストラックアウトなどがあります。また大型竪穴住居内では、餅つきをしたり、展示室内でも体験学習ができます。

夜になると、二千一個ものミニかまくらに灯がともされ、大型掘立柱建物などもライトアップされ、雪の



中に浮かぶ幻想的な遺跡の姿を見ることが出来ます。冬の遺跡を満喫してみたいかがでしょうか。